

産業廃棄物管理票交付等状況報告書（〇〇年度）

〇〇年〇〇月〇〇日

横浜市長 ※〇数字は「産業廃棄物管理票交付等状況報告書について」ページの「記載上の注意事項」説明文の番号です。

報告者 ②

住所 横浜市〇〇区××1-2

氏名 株式会社 〇×△ホーム 代表取締役 〇×△

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

電話番号 045(〇〇×)〇〇××

押印不要

⑤ 廃棄物の種類ごと、委託先ごとに記入してください。

③ 廃棄物を排出する事業場の名称を記入してください。ただし、短期間の事業場（工事現場等）については、代表工事現場又は本報告を管轄する支店等（本報告の取りまとめ部署）を記入してください。

① 報告対象年度（前年度）を記入してください。

④ 日本標準産業分類における事業区物（中分類）を記入してください。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の7項の規定に基づき、△△年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称 ③	〇△〇解体工事現場					業種 ④	総合工事業		
事業場の所在地 ③	横浜市〇〇区△△2-3					電話番号 ③	045(×××)〇〇××		
番号	⑤ 産業廃棄物種類	⑥ 排出量(t)	⑦ 管理票の交付枚数	⑧ 運搬受託者の許可番号	⑧ 運搬受託者の氏名又は名称	⑧ 運搬先の住所	⑨ 処分受託者の許可番号	⑨ 処分受託者の氏名又は名称	⑨ 処分場所の住所
1	木くず	253	400	14△××〇〇〇〇〇	〇〇産業(株)	横浜市〇〇区〇〇1-1	56▽××〇〇〇〇〇	〇〇産業(株)	
2	がれき類	338	8	同上	同上	同上	同上	同上	
3	がれき類	26	8	14〇×〇××□〇〇	〇×運送(株)	同上	同上	同上	
4	がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）	0.2	14	同上	同上	横須賀市芦名3-19	神奈川県営のため許可番号なし	かながわ環境整備センター	

⑦ 控えと戻り票（A～E票）の1セットを1枚として数えてください。

⑨ 通常は、⑧運搬先の住所＝⑨処分場所の住所だと思われるので、その場合、この欄の記入は不要です。

⑧ マニフェストの「運搬先の事業場」欄の所在地を記入してください。※運搬受託者の住所ではありません。

備考

- この報告書は、前年4月1日から3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。
- 同一の都道府県（政令市）の区域内に、設置が短期間であり、又は住所が一定しない事業場が2以上ある場合には、これら
- 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。
- 業種には日本標準産業分類の中分類を記入すること。
- 運搬又は処分を委託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、
- 各事項について石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等に係るものを明らかにすること。
- 処分場所の住所は、運搬先の住所と同じである場合には記入する必要はないこと。
- 区間を区切って運搬を委託した場合又は受託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてすべて記入すること。

産業廃棄物管理票交付等状況報告書

別紙の通し番号と総ページ数を記入してください。

事業場の名称		○△□解体工事現場							
番号	産業廃棄物の種類	排出量(t)	管理票の交付枚数	運搬受託者の許可番号	運搬受託者の氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の許可番号	処分受託者の氏名又は名称	処分場所の住所
5	金属くず	1.2	1	140×○○○○○○○	○○サービス(株) (再委託)			(有価売却のため処分なし)	
6	金属くず	0.5	50	140×○○○○○○○	○○運送(株)			(有価売却のため処分なし)	
7	建設混合廃棄物(がれき類、金属くず、廃プラスチック類)	0.21	3	560×××○○○○	○○運送(株) (区間委託1)	横浜市○×区△1-2			
				××○×××1234	□□環境(株) (区間委託2)	○○県××郡○○町1-3	○○○××○5678	○○興業(株)	
8	廃石綿等	2.433	1	560×▽○○○○○	○○リサイクル(株)	横浜市○○区△△1-21-3	560×○○○○○○○	○○リサイクル(株)	

⑩ 再委託を行った場合は、実際に運搬した再受託者を記入してください。

⑧ 区間委託を行った場合は積替え保管場所を記入してください。

⑥ 排出量は、小数点第3位(1kgまで)として報告してください。
例) 1.5kg=0.002t

⑧ 区間委託を行った場合は順路に沿って記入してください。

備考

- この別紙は報告書の対象となる産業廃棄物の種類等が報告書(様式第三号)に足りない場合に使用すること。この様式で足りない場合、また、行番号についても適宜付け替えることができる。
- 事業場の名称には、報告書(様式第三号)と同じ名称を記入すること。
- ページ数欄には、該当ページ数/総ページ数を記載すること。